

血液内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	血液疾患における骨髄表面抗原解析の意義
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇学
担当科等	血液内科
研究責任者	(職名) 教授 (氏名) 高見昭良
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	なし
研究の意義・目的	骨髄表面抗原解析は、血液疾患（白血病、リンパ腫、骨髄腫、造血不全など）の診断や治療効果を判定するため、骨髄穿刺検査時に行われる保険収載の検査です。骨髄表面抗原解析では、T細胞やB細胞、NK細胞などのリンパ球抗原も同時に解析されています。このような骨髄リンパ球抗原解析の結果が、血液疾患の臨床病態解明や予後予測に役立つかは明らかになっておりません。血液疾患の多くは、免疫学的異常を背景に発症、進展するため、骨髄リンパ球抗原解析の結果が、血液疾患の病態や予後予測にも役立つ可能性があります。最近、骨髄リンパ球抗原解析の進歩により、免疫関連抗原を包括的に調べられるようになってきています。以上から、血液疾患における骨髄表面抗原解析の臨床意義を解析することで、新規治療につながる情報が得られる可能性が高いと考えています。
対象となる患者さん	2014年5月1日から2024年12月31日までに、血液内科を受診し骨髄検査を受けた16歳以上の患者さん
研究の方法	血液疾患の診療目的で行われた骨髄表面抗原解析結果（B・T・NK細胞関連抗原割合、各絶対数）と以下項目との関係を検証いたします：生存期間、治療反応性、2次治療までの期間、再発までの期間、入院回数・日数、通院回数、治療目的の抗細菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬の使用とその期間など
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2028年3月31日
研究に用いる試料・情報	情報：患者年齢、性別、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、常用薬、薬物食物アレルギー、病名、治療内容、最終診療日とその後の経過、通院日、入院期間、血液検査結果、骨髄検査結果、画像検査、生理機能検査、病名、などの診療情報

外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 内科学講座（血液内科） 担当者：（職名）教授 （氏名）高見昭良 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23540）